

今月のトピックス

乾燥機及び除湿機による事故にご注意ください！

NITE ((独)製品評価技術基盤機構)に通知された製品事故情報のうち、平成18年度から22年度に発生した乾燥機及び除湿機に関する事故は261件ありました。

乾燥機及び除湿機に関する事故件数は6月から増加する傾向にあり、これから梅雨の季節を迎え、使用機会が増えるに連れて事故も増加することが考えられます。下記の注意事項等を参考に、これらの機器による事故を未然に防止しましょう。

NITE 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs120524.html>

乾燥機の事故事例

- ・衣類等に残留していたオイル等が酸化熱により自然発火した。
- ・電源コードの引っ張りや過度の屈曲等で芯線が半断線してショートした。
- ・点火操作の繰り返しで未燃焼ガスが滞留し、異常着火した。

除湿機の事故事例

- ・ほこり等の異物がヒーターの熱で加熱され、発煙・発火した。
- ・電源コードのねじり接続による接触不良で異常発熱し、ショート・発熱した。



注意事項

- ・美容オイル、食用油等が付着したタオル・衣類は、洗濯をした後でも乾燥機での乾燥はしない。
- ・エラーの表示が出た場合は、使用を中止し、取扱説明書に従い対応する。
- ・芯線の断線を防ぐため、電源プラグを抜くときはプラグ部を持って行き、コードを引っ張らないようにする。
- ・電源プラグ部や除湿機のフィルターを定期的に掃除し、ほこりが溜まらないようにする。

酸化熱

美容オイル、食用油等の油が空気に触れた際に発生する熱を酸化熱といい、油等が残留したタオル等を電気衣類乾燥機で乾かすことで酸化熱が発生し、この熱が蓄積することにより温度が上昇し、自然発火に至ることがあります。

この酸化熱が原因と見られる事故は平成18年度から22年度までに38件通知されています。

家庭用電気マッサージ器の適正使用について

平成24年3月、家庭用電気マッサージ器の使用中に、衣服がローラー部に巻き込まれて窒息死するという事故が発生しました。

この事故は、ローラー部の布カバーが外れた状態で使用したこと(マッサージ器の誤使用)が原因でした。

カバーを外したり、破れた状態での使用は大変危険です。家庭用電気マッサージ器をご使用になる際はメーカーの示す使用方法を守り、適正に使用してください。

厚生労働省でも注意喚起を行っています。詳しくは下記URLをご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002a2ce.html>

平成24年4月の重大製品事故公表情報については、消費者庁のホームページをご覧ください。
(<http://www.caa.go.jp/safety/index.html>)

【発行】長野県 企画部 消費生活室

電話 : 026 - 223 - 6770

ホームページ : <http://www.nagano-shohi.net/seihin-anzen/>